

経営計画入門。経営計画自体の計画

主役を中心にまとめていくと、意外に早くできる経営計画

1. 正しい経営計画とは。会社と呼ばれる組織体は「粗利益」で生きており、その粗利益は「お客様からしか」生まれません。多数の競争相手がいる中で実際にお客を作るには、競争力がある「強い商品作り」と、自社の規模に合った正しい「営業地域の決め方」、及び「業界と客層の決め方」、さらに効果性が高い「営業方法」、それに他社よりも優れた「顧客維持の方法」の5つが欠かせません。

経営では、この5つが「主役」になるのですから、主役の力がより發揮できる方法を考えてこれをまとめると、お客様の評判が良くなったり、経営効率が良くなるので、業績が良くなります。

2. 間違った経営計画とは。経営分析を始めとして会計中心に計画書を作ると、数字がいくつも並んだ上に頁数も多くなるので、いかにも良い計画書のように見えます。しかしこれらはお客様を作るときの「脇役」に過ぎません。

会社は粗利益が生きており、その粗利益は商品や営業の主役が稼ぐのですから、脇役の会計にいくら力を入れてもお客様作りはできないので、業績は決して良くなりません。

3. ところが経営計画の本やセミナーで説明されているのは、経営分析と会計の脇役が中心になっています。なぜこうなったのでしょうか。それは単なる偶然から起きていることは、意外に知られていません。

4. 真に業績向上に役立つ計画書を作るには、まずこだわらず、とらわれずの「空の心」になり、次に、本来経営計画書作りはどうあるべきかを考えます。

このあとお客様作りに直接関係する「主役を中心」に計画をまとめていくと、内容が良いものが早くまとまります。このCDは今から経営計画作りに取り組んでみたいと考えている社長や、会計中心の計画に不満を持っている社長のために作りました。

目からウロコの戦略教材です。

★経営計画入門★

定価 6,300円(税込)

CD。1巻。72分。テキスト付



ご住所	〒	業種			従業員	人
会社名		役職		氏名	様	
TEL		FAX				

★経営計画入門★